神奈川・千葉地（ちばち）遺跡

1 所在地　神奈川県鎌倉市御成町一五ノ五

2 調査期間　一九八〇年（昭55）三月～九月

3 発掘機関　千葉地遺跡発掘調査団

4 調査担当者　手塚直樹

5 遺跡の種類　武家屋敷跡、寺院跡

6 遺跡の年代　一三世紀～一四世紀

7 遺跡及び木簡出土遺構の概要

千葉地遺跡は鎌倉市の市街地、鎌倉駅の西方約一五〇mの標高約七m前後の平坦地に位置する。本調査はビル建設にともなう事前の発掘調査である。遺跡付近は字名として「千葉地」（千葉氏の屋敷がこの附近にあったと言う伝説）の名が知られていた。この地には、天保三年（一八三二）の扇ケ谷村古絵図によると、無量寺の名も見ることができる。遺跡の東側には今小路の路が南北に走る。

（横須賀）

調査では五回にわたる整地、地業を行った生活面（一三世紀中期～一四世紀末期以降）が確認された。

遺構は掘立柱建物跡、道路、溝、井戸、土壙、基壇状遺構などが検出されている。遺物は舶載陶磁器、国産陶磁器、将棋の駒二点を含む木製品、漆器などが多数発見された。

呪符は第四面（一三世紀末）上より、遺構にともなわないで発見された。なお他に柱根一点に墨書がみられたが判読不能である。

8 木簡の釈文・内容

(1)

「　□□□□□□
　　天□□□□□□□□
　　□□□□□□□□□□
　　天□□□□□□□□□□